

【教育目標 夢中になる とともに創る】



きらきら

新潟市立沼垂幼稚園
園だより
令和6年7月23日発行

夢中になる とともに創る

園長 青木博子

6月22日(土)、23日(日)に日本生活科・総合的学習教育学会第33回全国大会(新潟大会)が新潟市で開催され、幼稚園こども園・小学校・中学校・高等学校の教員、教育行政関係者、大学の研究者ほか1000人を超える皆さんが参加されました。授業公開、研究発表、そしてシンポジウムが行われ、幼児教育から小・中学校、高等学校教育の今と未来に向けて提案や議論があり、熱気あふれる研究会となりました。雨天の予報から一転して晴天となった22日(土)は、公開保育・公開授業があり、沼垂幼稚園でも全学級で公開保育と協議会を行いました。

当園には、新潟市内はもとより全国各地から、園・小中学校教員・大学教員及び行政関係者等およそ90名の皆さんが参加されました。ご感想の一部を紹介します。

年少うさぎ組

子どもが、安心して自分のやりたいことに没頭していました。担任の先生は、否定的な言葉を一切使わず、子どもの動きや言葉に温かく寄り添い言葉がけをしていました。そして、一人一人の動きや言葉の様子から、興味・関心がどこに向いているのかを常に注意深く見つめ、その子どもに応じて黙ってさりげなく教材を置くなどの環境構成を繰り返し、気持ちを受け止め代弁していました。自らの保育を反省しつつ、心が洗われました。

年少りす組

担任の先生による、子どもの言葉や行動をつなぐ支援、日常の具体的な場所や場面と結び付けるなどして子どもたちのイメージを膨らませてごっこ遊びに導く支援など、多くのことを学ばせていただきました。折り合いが求められる場面では、子どもの行動を制御するのではなく、子どもたちの選択肢を増やすことで、さらに考えさせる支援が素晴らしかったです。これらの多様な手立てが、子どもたちの夢中になる姿につながると感じました。

年中さくら組

保育がスタートした時から、やりたい遊びを始めている子どもがほとんどでした。子どもたちが自分で取ってきて使えたり、それぞれの遊びを保障しつつ他の遊びに興味を持ったりするような環境構成と、担任の先生の支援により、異なる遊びの子ども同士が自ら関わり合い遊ぶ姿に学ばせていただきました。遊びが日をまたいでかなり続くようになっていくと、この日の参観だけでも、子どもの遊びのスパンがとても長いことが分かりました。さらに、まさに子どもたちだけで遊びが展開し続けていました。

年長ほし組

カエルが逃げたという偶然起きた出来事を、担任の先生が子どもの驚き、興味・関心を大切に、子どものどの姿からでも遊び=学びにつながる場面として捉える保育がとても印象的でした。

一人一人が自分なりの楽しみ方や遊びに向かい夢中になって取り組んでいる様子が見られました。その様子は、沼垂小学校で取り組もうとしている「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」の姿そのもので、個人で楽しんでいた遊びを、見事にチームでの協働の遊びに発展させて大いに学んでいました。感謝と共に引き続き幼稚園の先生方の実践から学ばせていただきます。

講師の無藤隆先生より、園の環境が生かされており、個々が夢中になる姿からともに創る姿へと発展する様子が見られたとお話がありました。そして「遊びは、思い付きをする楽しさと、そこから少し先の目標を立てて実現しようとする課題解決の充実感からなる。思い付きとはその場面で何やらやってみたくなくなってやることであり、大人の予測を超えることは常に起こる。」というお話もありました。

子どもたちの姿、そして保護者の皆様と一緒に創り続けている教育を、とてもほめていただいた一日でした。そして、何より子どもたちは、安心して、自分のやりたいことに夢中でした。ともに創り出そうとしていました。私たちはこれからも、子ども一人一人の興味・関心と「やってみたい！」を大切に、子どもが創り出す工夫や試行錯誤、充実感を支えていきます。

保護者の皆様、土曜日登園、送り迎えはじめ多くのご理解ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

子どもの笑顔があふれました

PTAの皆様により、7月9日には110周年記念バザー、10日には110周年記念ぬったりフェスティバルが開催されました。子どもたちの目はきらきらと輝き、歓声が響きました。会場は活気とエネルギーに満ちて、大盛況となりました。フェスティバルでは、さかなつり、まとあて、ボールすくい、わなげの4つの手作りコーナーがつくられ、お面やコマ、時計など楽しい景品もあります。この取組は、新潟県幼稚園・こども園PTA連絡協議会の今年度事業である、プラスチックの減量や再利用などの環境問題を意識した3Rの視点も取り入れて、進

めていただきました。事前準備、運営、参加等、子どもたちの笑顔のためにご尽力いただいた、すべての保護者の皆様に心から御礼申し上げます。

